

News Release

2016年9月21日
マルホ株式会社

報道関係各位

多汗症治療薬 DRM04 に関する ライセンス契約締結のお知らせ

マルホ株式会社(本社:大阪府大阪市北区、代表取締役社長:高木幸一、以下、マルホ)は Dermira, Inc.(本社:米国カリフォルニア、CEO:トーマス・ウィガンス、以下、Dermira 社)と多汗症治療薬 DRM04(抗コリン外用製剤)の開発および販売の独占的ライセンス供与について、契約締結したことをお知らせいたします。

マルホは本契約により、日本で本剤を開発・販売する独占的実施権を取得し、製造販売承認取得を目指します。マルホは Dermira 社に契約一時金として 25 百万米ドルを支払うとともに、申請、承認および所定売上高達成の段階に応じて最大 70 百万米ドル、さらに日本での売上高に応じた一定のロイヤリティを支払います。

原発性多汗症は、頭部・顔面、手のひら、足の裏、腋(わき)という限られた部位から両側性に過剰な発汗をおこす疾患です¹⁾。DRM04 は抗コリン外用製剤で、Dermira 社が原発性腋窩多汗症を対象とした第Ⅲ相臨床試験を米国で実施中です。本剤は、汗腺からの発汗に関与するアセチルコリンのコリン作動性受容体への結合を阻害することによって汗の産生を抑制します。

マルホは本症の新たな治療選択肢を医療現場に提供することで、この疾患に悩む日本の患者さんに対して更なる貢献ができるものと期待しております。

以上

多汗症について

多汗症は、全身の発汗が増加する全身性多汗症と体の一部に限局して発汗量が増加する局所性多汗症に分類されます。原発性局所多汗症は、頭部・顔面、手のひら、足の裏、腋に、温熱や精神的な負荷の有無によらず日常生活に支障をきたす程の大量の汗を生じる状態をいいます。社会的活動範囲が広く、生産性のある年代の罹患率が非常に高く、このことにより精神的な苦痛を受けているといわれています¹⁾。腋におこるものを原発性腋窩多汗症といいます。原発性腋窩多汗症の日本における有病率は5.75%、平均発症年齢は19.5歳と報告²⁾されており、主な治療としては塩化アルミニウム液外用療法、ボツリヌス毒素局所注射療法などが行われています。

Dermira, Incについて

Dermira社はカリフォルニア州メンローパークに本社を置くバイオ医薬品企業で、皮膚科疾患患者さんの生活を向上させるために革新的で他とは一線を画す製品の研究・開発、販売に取り組んでいます。Dermira社の詳細については、www.dermira.comをご覧ください。

マルホ株式会社について

マルホ株式会社は大阪市北区に本社を置く、医療用医薬品の研究・開発・製造・販売を行う製薬企業です。創業は1915年、従業員数は1,335人(2015年9月末)です。2015年9月期の売上高は670億円でした。“Excellence in Dermatology”を長期ビジョンとして掲げ、皮膚科学領域での卓越した貢献を目指しています。マルホ株式会社についての詳細はwww.maruho.co.jpをご覧ください。

参考資料

- 1 藤本智子ら:原発性局所多汗症診療ガイドライン 2015 年改訂版 日皮会誌:125(7),1379-1400,2015
- 2 Fujimoto T, Kawahara K, Yokozeki H: Epidemiological study and considerations of focal hyperhidrosis in Japan: From questionnaire analysis. *J Dermatol.*40:886-890,2013

本件に関する問い合わせ先

マルホ株式会社 広報部

井口修平

Tel: 06-6371-8831 Fax: 06-6371-8679

Email: kouhou@mii.maruho.co.jp